

吉川公章 ロータリーガバナー インタビュー

国際ロータリー（RI）第2760地区の2024-25年度ガバナーに吉川公章氏が就任した。愛知県内の84クラブを統括する役職で、任期は7月から1年間。日本一の会員数を誇る地区だけに活発な活動は世界からも注目される。新年度にはRIから新たな課題も示され、地区の全クラブに周知し、目標達成への一層の推進を促すのがガバナーの務めという。吉川ガバナーに抱負などを語ってもらった。

（聞き手は塚本隆編集長）

—ご就任、おめでとうございます。率直な感想を。

吉川ガバナー 第2760地区は会員数4,600人余りで日本一です。ガバナーに就任させていただき緊張感を持って臨んでいます。運営はガバナー補佐をはじめ地区役員、各委員長の方々に活躍していただけるので安心ですが、ガバナーの役割をどう果たしていくか日々悩んでいます。

—ガバナーの方針をお聞かせください。

吉川氏 ガバナーの役割は第一にRIの方針を当地区の84クラブを通して会員の皆さんに伝えることです。RI会長のステファニーA.アーチックさんはRIの新年度のテーマを「ロータリーのマジック」としました。様々な活動の成果が大きなインパクトを与え、まさにロータリーのマジックとなります。これを受けて地区方針を魅力あるクラブとしました。魅力的なクラブに所属することで、持続可能な奉仕活動が実行され、クラブそしてロータリーが成長していくことを目標とさせていただきました。

—活動の重点は何でしょう。

吉川氏 活動の重点はロータリーのビジョン達成に向けた行動計画の実行です。行動計画には4つの優先事項が示されております。これに沿って各クラブが戦略計画を策定、実行



することで素晴らしく魅力あるクラブになります。結果として持続可能な社会貢献ができ、ロータリーそのものが大きく成長していくと考えています。

—4つの優先事項とは。

吉川氏 4つの優先事項は「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の積極的な関わりを促す」「参加者の基盤を広げる」「適応力を高める」です。

—新たに「3-Year Targets」（スリーイヤーターゲット）の方針がRIから示されたとか。

吉川氏 RIが2023年秋の理事会で決定した方針です。各クラブには従来の戦略計画など中期計画を、4つの優先事項に沿って、具体的な数値目標を含む3年計画として策定することを求めています。ロータリーが発展、継続していくためには、社会の中で役立つ組織としての変革が必要です。各クラブのリーダーはクラブの3-Year Targetsとして戦略的に目標を立て実行します。翌年、次のリーダーが再度評価し、新たな3-Year Targetsを立てます。クラブ役員の任期は一年ですが常に3年先の目標に向け活動することが求められています。クラブの目標は地区でまとめ、さらにゾーンで目標をたてます。まさにボトムアップ方式で、ロータリー全体を改革していく方